

2025年7月1日時点における医療機能が本年から変更「あり」、かつ、現在担っていない医療機能を担う医療機関

		1. 平成30年7月1日現在の医療機能							2. 病床が担う医療機能の転換について							理由		
		病床数							2025年7月1日時点における病床の機能の予定		病床数							
医療機関名	所在地	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	計	本年からの変更予定の有無	変更予定年月	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	介護保険施設		計	
富士病院	知立市牛田町西屋敷137-1	0	26	0	104	0	130	あり	未定	0	79	51	0	0	0	130	2025年へ更なる増加が予測される急性期脳疾患(脳卒中)に対応するため、また、今後の慢性期医療に対するニーズの変化に対応するため、現在の慢性期病棟を急性期病棟及び回復期病棟にそれぞれ変更を行う。	
刈谷豊田総合病院高浜分院	高浜市稗田町三丁目2番地11	0	0	0	104	0	104	あり	2019年 7月	0	0	46	96	0	0	142	2019年7月新病院の移転に伴い104床より142床へ増床します。増床後の医療機能については、現在の入院患者の受入を維持しながら、医療圏に不足する回復期病床の増床を進めます。	

開設者の変更を含む、役割や機能を大きく変更する医療機関

		5. 地域医療構想を踏まえた今後の役割について				
医療機関名	所在地	役割や機能を大きく変更する予定	担うべき役割	持つべき病床機能	その他見直すべき点	診療科の見直し
富士病院	知立市牛田町西屋敷137-1	あり	脳卒中を中心とした脳疾患に対する医療は、スピードが求められる時代となっている。また2025年には、当地域における脳卒中患者はさらに増加すると考えられ、現在当地域の急性期脳疾患のセンター的役割を担う安生更生病院、刈谷豊田総合病院の2拠点のみでは対応困難と考えられる。今後、当院は急性期から回復期までを1つの病院で担う、脳神経外科医療に特に焦点を絞ったこの地域にはない特色ある病院に変更していく予定である。本年度より救急車の受け入れ態勢、脳外科を中心とした手術体制を特に強化している。	現在ある急性期病棟は、引き続き急性期病棟として運用する。また医療療養病床である2つの病棟のうち1つを急性期病床に変え、もう1つは回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病床に変更する予定である。	急性期脳疾患に対応するべく、医療機器の整備、脳外科医師の確保を行う。現在および今後の当院の医療水準を広くほかの医療機関、救急隊、患者さんに知っていただき、より多くの脳疾患患者さんの受け入れを行う。	無
刈谷豊田総合病院高浜分院	高浜市稗田町三丁目2番地11	あり				